

2021年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月15日

上場会社名 株式会社ジェイック 上場取引所 東
 コード番号 7073 URL <https://www.jaic-g.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 佐藤 剛志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 谷中 拓生 TEL 03(5282)7608
 四半期報告書提出予定日 2020年6月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	709	—	16	—	15	—	11	—
2020年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 Δ 0百万円 (—%) 2020年1月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	12.97	11.83
2020年1月期第1四半期	—	—

(注) 2020年1月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年1月期第1四半期の数値及び2021年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	1,931	963	50.1
2020年1月期	2,080	1,027	49.4

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 968百万円 2020年1月期 1,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	72.00	72.00
2021年1月期	—	—	—	—	—
2021年1月期（予想）	—	0.00	—	77.00	77.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において、取締役会の決議によって毎年7月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式買権者に対し、剰余金の配当をすることができるとしておりますが、当連結会計年度においては期末配当のみとする予定であります。

3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,450	13.8	344	1.0	341	2.4	224	5.1	252.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期1Q	905,800株	2020年1月期	905,800株
② 期末自己株式数	2021年1月期1Q	18,600株	2020年1月期	18,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期1Q	887,200株	2020年1月期1Q	—株

(注) 当社は、2020年1月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため「期中平均株式数」を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全世界での新型コロナウイルス感染症の急速な拡大、及びそれに対応した政府の緊急事態宣言により、景況感は急速に悪化し、日本経済の先行きは不透明な状況が続いております。国内の雇用情勢においては、厚生労働省発表の「一般職業紹介状況（令和2年4月分）について」によると、有効求人倍率は前月から0.07ポイント低下し1.32倍となりました。有効求人倍率としては2016年4月並みの水準であり、引き続き企業の採用意欲は高水準ではあるものの、4か月連続で低下しております。

このような状況の中、当社グループでは、当社経営企画部が中心となって在宅勤務に必要となるインフラ整備を速やかに完了させる一方、中心サービスである教育融合型人材紹介サービス「就職カレッジ®」をはじめ、「女子カレッジ®」、「セカンドカレッジ®」、「新卒カレッジ®」、2020年2月からスタートした「30代カレッジ」をオンラインでのサービス提供に切り替え、特性診断を用いて企業と学生のマッチングを図る新卒採用サイト「Future Finder®」においては採用計画・手法の見直しを余儀なくされた企業が導入を検討しやすいように機能を限定した特別価格プランの提供や、会社説明会や面接のオンライン化支援としてWeb面接会・Web面接ツールに関する情報提供、オンライン面接マニュアルの提供、会社説明会のスライド作成支援などに迅速に取り組んでまいりました。

しかし、その一方で当該感染症の影響を国内より早期に受け始めた子会社の上海杰意邁伊茲企业管理咨询有限公司の業績は厳しい状態にあり、国内の教育融合型人材紹介サービスにおいては、4月7日の緊急事態宣言発令による入社日変更によって売上の月ずれが生じるなどの影響が出ております。また、教育研修サービスにおいては、オンライン化を進めたものの、リアルでの研修実施を希望する企業の要望により、受注済み研修の延期やキャンセルが生じております。上記の状況を踏まえ、社員採用も含めて期初計画からさらに踏み込んだコストコントロールを実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高709,833千円、営業利益16,109千円、経常利益15,424千円、親会社株主に帰属する四半期純利益11,506千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,237,739千円となり、前連結会計年度末に比べて170,717千円減少いたしました。これは主に配当金の支払い63,878千円などにより現金及び預金が168,906千円減少したことによるものであります。固定資産は693,662千円となり、前連結会計年度末に比べて21,815千円増加いたしました。これは主に広島支店開設等により有形固定資産が8,536千円、秋冬採用ナビの事業譲受等により無形固定資産が4,762千円、広島支店開設に伴う敷金及び保証金の増加等により投資その他の資産が8,515千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,931,401千円となり、前連結会計年度末に比べて148,902千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は557,564千円となり、前連結会計年度末に比べて83,838千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が87,059千円減少したことによるものであります。固定負債は410,385千円となり、前連結会計年度末に比べて935千円減少いたしました。

この結果、負債合計は967,950千円となり、前連結会計年度末に比べて84,774千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は963,450千円となり、前連結会計年度末に比べて64,128千円減少いたしました。これは主に配当金の支払い63,878千円などにより利益剰余金が52,372千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や緊急事態宣言が内外経済に与える影響の大きさ及び期間については不確実性が高く、当社グループの業績にも影響を与えることが予想されますが、現時点でその影響額を見積もることは困難な状況であるため、通期連結業績予想には織り込んでおりません。以上により、2020年3月13日の「2020年1月期決算短信」で公表いたしました「連結業績予想」「配当予想」は据え置きとしております。なお、状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、適正かつ合理的な算出が可能になり次第、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,162,012	993,106
売掛金	177,257	166,418
貯蔵品	7,047	4,904
その他	62,139	73,309
流動資産合計	1,408,457	1,237,739
固定資産		
有形固定資産		
建物	84,613	94,263
減価償却累計額	△30,142	△31,725
建物（純額）	54,470	62,537
工具、器具及び備品	57,068	58,519
減価償却累計額	△44,063	△45,044
工具、器具及び備品（純額）	13,004	13,474
有形固定資産合計	67,475	76,012
無形固定資産		
ソフトウェア	1,691	6,501
特許使用権	147,352	147,305
その他	76	76
無形固定資産合計	149,120	153,883
投資その他の資産		
投資有価証券	205,861	203,774
敷金及び保証金	145,739	150,722
繰延税金資産	45,610	48,928
その他	58,038	60,341
投資その他の資産合計	455,251	463,766
固定資産合計	671,847	693,662
資産合計	2,080,304	1,931,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
未払金	72,152	117,076
未払費用	96,714	75,282
前受金	83,805	119,006
1年内返済予定の長期借入金	144,456	108,342
未払法人税等	95,005	7,945
返金引当金	40,322	22,752
賞与引当金	48,413	65,075
その他	60,532	42,084
流動負債合計	641,402	557,564
固定負債		
長期借入金	405,503	404,963
その他	5,818	5,422
固定負債合計	411,321	410,385
負債合計	1,052,724	967,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	252,827	252,827
資本剰余金	283,609	283,609
利益剰余金	479,507	427,135
自己株式	△1,543	△1,543
株主資本合計	1,014,399	962,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,988	5,342
為替換算調整勘定	687	709
その他の包括利益累計額合計	13,675	6,052
新株予約権	243	243
非支配株主持分	△739	△4,872
純資産合計	1,027,579	963,450
負債純資産合計	2,080,304	1,931,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
売上高	709,833
売上原価	44,324
売上総利益	665,508
販売費及び一般管理費	649,489
営業利益	16,019
営業外収益	
受取利息	6
還付消費税等	15
その他	12
営業外収益合計	34
営業外費用	
支払利息	623
その他	5
営業外費用合計	629
経常利益	15,424
特別損失	
投資有価証券評価損	124
特別損失合計	124
税金等調整前四半期純利益	15,300
法人税等	7,945
四半期純利益	7,354
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,506

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）
四半期純利益	7,354
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△7,645
為替換算調整勘定	40
その他の包括利益合計	△7,605
四半期包括利益	△250
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,883
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,133

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております